

わっか!

Special Feature

内子で親子旅



内子町グリーンツーリズム協会が提案する「内子の親子たび」は、農業体験だけでなく、内子ならではのレジャー体験を気軽にできます。夏の企画が好評だったので、秋からも継続して企画する予定です。身近だけど特別な田舎暮らしを親子で体験すれば、子どもたちの感性や生きる力を磨くだけでなく、親子の絆が強くなります。内子町に住みながら田舎らしい体験をしたことがない家族、近くのまちに住む親せきや友達の皆さんにおすすめです。親子の楽しい思い出づくりに、内子で親子旅してみませんか――

①川遊びで親子旅を満喫する仲良し親子 ②田舎の子ともたちもカブトムシが大好き ③きれいな小田川に落ちると、どんな世界が見えますか ④怖くて触れないけれど興味津々



「天忠の宿ひろこ」から見た朝焼けと雲海。子どもたちに見せたい内子の美しい景色の一つ

—— 子どもたちの笑顔が教えてくれる、内子の夏の素晴らしさ ——



思い出いっぱい親子旅、夏

内子町グリーンツーリズム協会が企画した「内子の親子たび」。夏休み期間の関連イベントに、多くの家族が参加しました。同協会会長の山本忠志さんに企画の趣旨や、そこに込められた思いを聞きました。



内子町グリーンツーリズム協会
会長 山本 忠志さん

「内子の親子たび」始めました

グリーンツーリズム協会の新しい企画「内子の親子たび」では、カブトムシ捕りや川遊びなど、田舎ならではのレジャー体験を充実させました。農業体験だけでない家族の楽しみ方を提案することで、親も子も一緒に学びながら、思い出を作れることが魅力です。

これまでも宿泊客から、自分が幼い頃に経験したことを、自分の子どもに経験させたいという要望が多くありました。しかし道具がなく、その経験ができる場所も分らないとのこと——。経験豊富なグリーンツーリズムの宿主がサポートすることで、気軽にできる親子旅を実現しました。

かけがえない親子の時間

農業や田舎暮らしの体験ができるグリーンツーリズムは、修学旅行で利用されるなど子どもたちの教育の場にもなっています。親子旅は学校教育ではなく、親が子に教える、親と子が一緒に成長できる時間。子どもたちの経験が豊富になるだけでなく、親子の距離がもっと縮まって、楽しい思い出がたくさん作れます。

例えば川遊び。何が危険かを知っていれば楽しく遊べますが、川で遊んだ経験のない親が多く、危険なことを子どもに教えられません。川遊び自体をさせなくなり、子どもの成長の機会を奪っています。危険を回避する対応力は、幼い頃に実践で身に付けるのが一番。親子旅では親と子が学べる、貴重な機会を提供できます。

秋は地元で親子旅

地域資源や人材が豊富な内子町ですが、その魅力をまだ伝えきれていません。体験メニューがバラバラなのが一つの原因です。親子旅は物語のある体験ツアーが作りやすく、宿泊客の旅の目的を明確にできる利点があります。竹を切つてその竹でご飯を炊く体験など、住民も経験したくなる楽しいメニューが増えることを期待しています。秋の「内子の親子たび」も企画中です。地元の人も内子町で親子旅をして、グリーンツーリズムの身近さや楽しさを感じてもらえたらうれしいです。

西さんの親子旅 思い出の写真



レンタルの網で魚捕りに挑戦



緩やかな川と時間の流れを楽しむ



食事ができるまでボードゲームで勝負

近くても旅行気分を味わえた内子の親子旅

松山市に住んでいるので内子町には何回も来ていますが、泊まるのは初めてです。小学校に「内子の親子たび」のチラシがあって、川遊びをしたいと思って来ました。アウトドアは好きだけど、道具とかは持っていません。ライフジャケットや川遊びの道具などの貸し出しは、気軽に来られ

るのでいいですね。子どもたちが大きくなると旅行をする機会が減るけれど、内子町は近くで来やすいし旅行した気分になります。ペンションなどに泊まるのも、テント泊りが苦手な私たちにはぴったりでよかったです。次は岩の上から川へ飛び込む体験を子どもたちにさせたいです。

親子旅体験 Interview



ひとみ 西仁美さん・まお 眞央ちゃん・ゆうしん 悠心くん

内子で一番高い山を親子で歩こう

秋の小田深山の物語



1562mの笠取山からの尾根と、貝渚山のブナの森、全長4kmを歩きます。

●開催日

▷1回目 10月13日(日)

▷2回目 10月14日(月)

●場所時間(集合場所)

▷午前8時(JR内子駅・内子町役場内子分庁)

▷午前8時30分(道の駅せせらぎ)

●定員 各回30人

●参加費 1,500円

●持参物 弁当・飲み物

【申込・問い合わせ】

内子町役場小田支所

☎0892(52)3111

魅力的な宿はまだあります

「内子の親子たび」秋

秋の「内子の親子たび」を企画中です。続報をお待ちください。グリーンツーリズム協会では17施設が会員になっています。すてきな宿、楽しい体験メニューがありますので、ホームページでご確認ください。

☞<http://uchiko-gt.sakura.ne.jp/>

思い立ったら 親子で内子旅

旅は子どもの視野が広がるだけでなく、想像力や忍耐力を育みます。でも遠くへ行くのはなかなか難しいもの。いつか行きたいと思っているうちに、時がたってしまう……。そんな人には「内子の親子たび」を提案します。想像以上にすてきな旅を経験できるかもしれません。

天忠の宿ひろこ

山にしかないぜいたく

向井 博子さん 下立山



「天忠の宿ひろこ」は鎌倉山の中腹にある、1組・5人限定の宿です。私の第2の人生の生きがいにしたと、平成28年から始めました。料理が大好きで、農業も大好き。両方とも得意なので、それを生かせるグリーンツーリズムの宿は、私にぴったりでした。

を満喫できるよう、その時々のおもてなしを心掛けています。希望があればバーベキューもできるし、釜炊きのご飯も作ります。季節が合えば、とうもろこしを一緒に収穫して、炭火で焼いて食べることも……。一番のこだわりは旬のものを食べてもらうこと。摘みたて野菜や生みたての卵を使った手料理、自家製の漬物など、収穫作業や山道を散歩してから食べる料理は、本当においしいですよ。私の楽しみが、お客さんにも伝



向井さん自慢の手料理



一棟貸しの宿の内観



展望台から雲海を眺める



生みたて卵は最高の食材

わったらいなと思っています。秋は栗拾いや稲刈り、こんなにやぐづくり、餅つきなど、田舎暮らしの楽しさや食のおいしさをいっぱい体感できる季節。特設の展望台からの眺めは最高なので、ぜひ親子で泊まりに来てください。



お山の学校ながた

失敗は成長のもと

太田 利栄さん 長田

「カブトムシと五右衛門風呂の田舎の親子旅」を初めて開催しました。カブトムシを捕まえるわな作りなど、親と子が一緒に話しながら同じ体験をできる、いい機会を提供できたと思います。自然の中で遊ぶ経験が少ない人も多く、親



お山の学校ながたの外観



人気の五右衛門風呂



長田地区はカブトムシの宝庫



親子でピザ作り体験

の方が虫に触れなかったり、魚を持つのを嫌がったりする姿もありました。親が子どもに戻って、楽しい時間を過ごせたようです。五右衛門風呂やうどん作り、川魚を焼いて食べる体験もできます。今回は鮎が人気でした。自分で鮎に竹串を刺して、自分で炭火で焼いて食べるなんて、このあたりだからできること。5匹も食べる子がいて、「おいしい」と喜んでいるのが印象的でした。

小学校がなくなるとき、「子ども」の声がせんと寂しい」とみんなが集まれる場を作ったのが始まりです。今回、子どもの笑顔はいいなと改めて思いました。親にもその姿を見てもらい、田舎のよさを満喫してもらえたらうれしいです。以前、ここに宿泊した人が「うまくできないのがいい体験」と言っていました。みんな、失敗して失敗してできるが増えていく……。ここでは、そんな経験をいっぱいしてほしいです。

武井さんの親子旅

思い出の写真



お気に入りの手作りハンモック



親子でナスの収穫体験



少し怖いけれど鶏に餌をあげてみた